

# やないづ 議会だより

第121号  
平成21年(2009)  
12月定例会報告

発行日：平成22年1月29日

福島県柳津町議会

(0241)42-2390

編集 議会広報編集委員会

12月定例会…12月15日～18日

第7回臨時会…11月12日 第8回臨時会…11月25日

## 議案審議

条例・予算 ..... 2

## 一般質問

- ・地域の過疎化対策
- ・農業者戸別所得補償制度
- ・災害対策の取り組み
- ・道の駅周辺整備
- ・地震と住民の安全確保と不安解消

5議員が問う！ ..... 4

委員会レポート・お知らせ ..... 10





# 議案審議

第7回臨時会  
(11月12日)

## 専決処分

### 【一般会計補正】

旧ホテルみなとやの土地・建物を購入するため、公有財産購入費を650万円増額し、予備費を650万円減額することを専決処分した。予算総額は変わらず40億9,826万1千円。

## その他

### 【工事請負契約の変更】

柳津中学校体育館耐震補強大規模改修工事について改修内容に変更が生じたため請負契約金額を536万8,650円増額し、8,968万3,650円に変更する案件を可決。

**正** [柳津町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正]

福島県人事委員会勧告等により期末手当の支給率を引き下げるための条例の一部改正を可決。

## 補正予算

### 【一般会計補正】

予算総額に264万5千円を追加し、予算総額を41億90万6千円とする案件を可決。《主なもの》

▼保健衛生費  
(インフルエンザ予防接種事業)

845万2千円

正

【町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正】

12月支給分

2・33カ月分を引き下げ

## 条例

第8回臨時会  
(11月25日)

### 【職員の給与に関する条例の一部改正】

福島県人事委員会勧告等により、住居手当を廃止し、期末手当及び勤勉手当の支給率を引き下げるための条例の一部改正を可決。

▼12月支給分  
1・70カ月分を  
1・60カ月分に引き下げ

# 町民バス運行開始

——新交通体系 平成22年4月1日より——

平成22年4月1日より新交通体系として町民バスが運行されます。片道乗車1回100円で利用できるようになります。運行路線は下表のとおりです。

路線名	始点	経由地点	終点
軽井沢線	軽井沢	塩野、猪鼻、長倉、新村、石神、古屋敷、石生	ふれあい館
麻生線	麻生	野老沢、小巻	ふれあい館
藤線	椿	藤、八坂野、細越	ふれあい館
大野新田線	大野新田	大野、黒滝、小柳津	ふれあい館
長窪線	長窪	石坂	ふれあい館
琵琶首線	琵琶首	大成沢、芋小屋、冴中、黒沢	西山支所
高森線	高森	四ツ谷、牧沢、五畠敷	西山支所
大峯線	大峯	久保田、湯八木沢	西山支所
支所本序線	西山支所	湯八木沢、中野、小ノ川、出倉	ふれあい館

# 第4回定例会一般質問

一般質問は、議会招集日の15日に行われ5人の議員が質問に立ち、地域の過疎化対策、農業者戸別所得補償制度、災害対策の取り組み、道の駅周辺整備、地震と住民の安全確保と不安解消等について町長の考えをただしました。



5番 鈴木 吉信議員

## ○地域の過疎化対策 ○町の住宅用火災警報器の設置状況

### Q 地域の高齢化への対応は?

町の高齢化率も2、3年後に、地区によつては、50%に近い数値となるものと思われます。特に本町の2・3地区や西山地区では、特に厳しい現状です。

各地区で、数少ない若者が一緒になり、毎週のように休日利用し、地区的安全、安心な地域づくりに取り組んでいるのが現状です。今後の高齢化の進行により、ますます過疎化に拍車が掛かり、限界集落の激増となるのもそう遠くないと思われる

ます。町は今後の高齢化

社会に対して、どのように対応し進めるのか町長の考え方を伺います。

A町長

我が町の高齢化率は37・3%で、50%を超えてい

ります。暮らせることになる町民

生きがい対策として、冬まつり時の老人作品展示即売会や、来年4月より運行することになる町民バスと町の施設を活用し、高齢者間の交流が図れる

過疎債を活用して、整備事業を実施しています。現在実施している健康相談や転倒予防教室等を継続し、より多くの方に特定健診を受診していく

なります。そのため、道路等の管理が思うようにできず、共同体としての機能が衰えてしまいます。

### Q 火災警報器の設置促進を!

平成23年6月からすべての住宅に火災警報器の設置が義務付けられるようになりました。隣接町においても、設置率が100%に達している町となりました。我が町においても、消

防団、婦人消防隊の協力を得て各家庭に設置の啓蒙を行っています。町では、消



火災警報器設置促進チラシ

A町長

住宅用火災警報器の設

置は、既存の住宅では平成23年6月1日から義務化されます。町では、消防団、婦人消防隊の協力を得て各家庭に設置の啓蒙を行っています。町では、消

防団、婦人消防隊が対応されておられます。被害を最小限にとどめるために、設置の促進を図るべきと思います。町当局の今後の取り組みについてお伺いします。

火災警報器の設置は、人命を守るために非常に重要なことであり、効果的な方法です。それに加え特に重要なことは防火意識の高揚であると考えていますので、消防団の協力を得ながら、防火意識の高揚と火災警報器の設置を推進していきたいと考えています。

## 一般質問



1番 横田 善郎議員

### ○農業者戸別所得補償制度 ○高齢者の日常生活支援

#### Q 我が町農業の在り方は?

来年度より戸別所得補償制度が導入されようとしています。米農家にとつて期待も大きいですが、長い目でみると問題が生じないか心配されます。

町では規模拡大米農家から野菜農家、組織営農、作業委託の小規模農家まで當農に対し十分でなくてもそれなりの支援はしてきたと思うのですが、戸別所得補償制度が実施されたとき多種多様な我が町の當農に対しどのように農業の在り方を考えているのか町長の所信を伺います。

戸別所得補償制度は、具体的な運用が示されない現在、本質さえ見えない状況です。情報収集に努め、死角を整理し中山間地域の実態に合った農業振興策を適切に判断していきたいと考えています。

本年度は生産調整推進事業により、生産調整達

成者に水稻作付面積換算値により10アール当たり1万円の助成を行なうこととなっており、全農家の所得向上につながると考えています。このほか、

振興作物の取組として、アスパラガス、トマト、きゅうり、インゲン、花、そば、ナタネ、にんにくの生産拡大を推進し、さらなる所得向上、雇用を

念頭に置き、活力ある農業を展開してきたと考えております。本事業は、振興計画どおり平成23年度まで継続していきたい考

えます。

戸別所得補償制度は、農業の安全を追及しながら、農協関係団体等とよく協議し、地産地消への取組を進め、農家と消費者を結びつける流通組織育成を推進し、農家所得向上と後継者育成のための施策を展開していくかな

いきます。

ことですが、私は人口が

減つても残っている人た

ちが一定の所得があり、

安全・安心に生活できる

のであれば、社会の変遷

からやむを得ない面もあ

るとの思いもあります。

しかし残念ながら地

域を離れて暮らす人た

が現実です。行政どし

援ができないか、たとえ

ば

1、日常生活用品、特に

食料品などの注文を取

り週1回配達はできな

いか、商工会と協議す

る考えはないか、

いか、

2、週1回程度高齢者向

きの少し豪華な弁当配

達は考えられないか、

あるいは補助は出せな

ことですが、私は人口が

減つても残っている人た

ちが一定の所得があり、

安全・安心に生活できる

のであれば、社会の変遷

からやむを得ない面もあ

るとの思いもあります。

しかし残念ながら地

域を離れて暮らす人た

が現実です。行政どし

援ができないか、たとえ

ば

1、日常生活用品、特に

食料品などの注文を取

り週1回配達はできな

いか、商工会と協議す

る考えはないか、

いか、

2、週1回程度高齢者向

きの少し豪華な弁当配

達は考えられないか、

あるいは補助は出せな

ことですが、私は人口が

減つても残っている人た

ちが一定の所得があり、

安全・安心に生活できる

のであれば、社会の変遷

からやむを得ない面もあ

るとの思いもあります。

しかし残念ながら地

域を離れて暮らす人た

が現実です。行政どし

援ができないか、たとえ

ば

1、日常生活用品、特に

食料品などの注文を取

り週1回配達はできな

いか、商工会と協議す

る考えはないか、

いか、

2、週1回程度高齢者向

きの少し豪華な弁当配

達は考えられないか、

あるいは補助は出せな

ことですが、私は人口が

減つても残っている人た

ちが一定の所得があり、

安全・安心に生活できる

のであれば、社会の変遷

からやむを得ない面もあ

るとの思いもあります。

しかし残念ながら地

域を離れて暮らす人た

が現実です。行政どし

援ができないか、たとえ

ば

1、日常生活用品、特に

食料品などの注文を取

り週1回配達はできな

いか、商工会と協議す

る考えはないか、

いか、

2、週1回程度高齢者向

きの少し豪華な弁当配

達は考えられないか、

あるいは補助は出せな

ことですが、私は人口が

減つても残っている人た

ちが一定の所得があり、

安全・安心に生活できる

のであれば、社会の変遷

からやむを得ない面もあ

るとの思いもあります。

しかし残念ながら地

域を離れて暮らす人た

が現実です。行政どし

援ができないか、たとえ

ば

1、日常生活用品、特に

食料品などの注文を取

り週1回配達はできな

いか、商工会と協議す

る考えはないか、

いか、

2、週1回程度高齢者向

きの少し豪華な弁当配

達は考えられないか、

あるいは補助は出せな

ことですが、私は人口が

減つても残っている人た

ちが一定の所得があり、

安全・安心に生活できる

のであれば、社会の変遷

からやむを得ない面もあ

るとの思いもあります。

しかし残念ながら地

域を離れて暮らす人た

が現実です。行政どし

援ができないか、たとえ

ば

1、日常生活用品、特に

食料品などの注文を取

り週1回配達はできな

いか、商工会と協議す

る考えはないか、

いか、

2、週1回程度高齢者向

きの少し豪華な弁当配

達は考えられないか、

あるいは補助は出せな

ことですが、私は人口が

減つても残っている人た

ちが一定の所得があり、

安全・安心に生活できる

のであれば、社会の変遷

からやむを得ない面もあ

るとの思いもあります。

しかし残念ながら地

域を離れて暮らす人た

が現実です。行政どし

援ができないか、たとえ

ば

1、日常生活用品、特に

食料品などの注文を取

り週1回配達はできな

いか、商工会と協議す

る考えはないか、

いか、

2、週1回程度高齢者向

きの少し豪華な弁当配

達は考えられないか、

あるいは補助は出せな

ことですが、私は人口が

減つても残っている人た

ちが一定の所得があり、

安全・安心に生活できる

のであれば、社会の変遷

からやむを得ない面もあ

るとの思いもあります。

しかし残念ながら地

域を離れて暮らす人た

が現実です。行政どし

援ができないか、たとえ

ば

1、日常生活用品、特に

食料品などの注文を取

り週1回配達はできな

いか、商工会と協議す

る考えはないか、

いか、

2、週1回程度高齢者向

きの少し豪華な弁当配

達は考えられないか、

あるいは補助は出せな

ことですが、私は人口が

減つても残っている人た

ちが一定の所得があり、

安全・安心に生活できる

のであれば、社会の変遷

からやむを得ない面もあ

るとの思いもあります。

しかし残念ながら地

域を離れて暮らす人た

が現実です。行政どし

援ができないか、たとえ

ば

1、日常生活用品、特に

食料品などの注文を取

り週1回配達はできな

いか、商工会と協議す

る考えはないか、

いか、

2、週1回程度高齢者向

きの少し豪華な弁当配

達は考えられないか、

あるいは補助は出せな

ことですが、私は人口が

減つても残っている人た

ちが一定の所得があり、

安全・安心に生活できる

のであれば、社会の変遷

からやむを得ない面もあ

るとの思いもあります。

しかし残念ながら地

域を離れて暮らす人た

が現実です。行政どし

援ができないか、たとえ

ば

1、日常生活用品、特に

食料品などの注文を取

り週1回配達はできな

いか、商工会と協議す

る考えはないか、

いか、

2、週1回程度高齢者向

きの少し豪華な弁当配

達は考えられないか、

あるいは補助は出せな

ことですが、私は人口が

減つても残っている人た

ちが一定の所得があり、

安全・安心に生活できる

のであれば、社会の変遷

からやむを得ない面もあ

るとの思いもあります。

しかし残念ながら地

域を離れて暮らす人た

が現実です。行政どし

援ができないか、たとえ

ば

1、日常生活用品、特に

食料品などの注文を取

り週1回配達はできな

いか、商工会と協議す

る考えはないか、

いか、

2、週1回程度高齢者向

きの少し豪華な弁当配

達は考えられないか、

あるいは補助は出せな

ことですが、私は人口が

減つても残っている人た

ちが一定の所得があり、

安全・安心に生活できる

のであれば、社会の変遷

からやむを得ない面もあ

るとの思いもあります。

しかし残念ながら地

域を離れて暮らす人た

が現実です。行政どし

援ができないか、たとえ

ば

1、日常生活用品、特に

食料品などの注文を取

り週1回配



6番 小林 功議員

- 災害対策の取り組み
- 収納率の向上

① 町の災害対策の現状、防災の取り組みは、災害対策基本法に基づき町防災会議が作成した「柳津町地域防災計画」があり、災害に関してはこのマニュアルに従い処理しています。

会の皆さんへ報告します。議  
したら町民の皆さん、議  
次に地震の教訓ですが、議  
まず各地区の区長さん、議  
消防団の皆さん、その他議  
公的役割を担つていただき  
いた多くの皆様に深く感  
謝申し上げます。教訓、議

の流れが進むと自主財源の確保がますます重要となってきます。また町の健全な財政運営や真面目な納税者に不公平感を与えないためにも先送りができない重要な課題です。町税等の滞納状況と今後

② 10月12日午後6時42分に西山地区を震源とする大変強い地震が発生しました。牧沢、五畠敷、砂子原、黒沢等の地区を中心大きな被害が生じました。あれから2カ月が経過しましたが、地震対応の総括とこの地震を教訓とするところは何か伺います。

今回の地震の経験を糧としてしつかりとしたマニュアルを作成したいと考えています。

② 地震対応の総括ですが、先に議長名で、被害の総額を把握し報告すること、第三者機関の調査を行い解析報告を行うことなどの要望がありました。これを受け被害総額を把握するため府内協議

の安心のために見える行動、いわゆるマンパワーを示すことなど検討しなければならない事項が多く見つかりました。

今回の経験を糧にし、住民の安心、安全のためにつきかり対応していくことを考えています。

① 町は災害から町民の生命、身体及び財産を守るという重大な責任を担っています。これを実現することが、安全で安心で生きる町づくりにつながります。そこで町の災害対策の現状、防災の取り組みについて伺います。

の体制が正しく記載されていません。正しいものとして備えるよう指示したところです。

Q 災害対策の現状は?

しかしこのマニュアルは平成10年5月に発行されてから改定されず現行

反省は数多くありますか、本部としての安否確認、被害状況の確認等も~~又~~三回

の取り組みを伺います

付誓約を行ってきました

6

Q 収納率の向上を！



## 10月12日地震による道路の亀裂

年に比べ83万円の増加となりました。このような中で、預貯金、出資金等の債権、給与、不動産の差押え及び債権確保と併せて分割納保に努めていきます。

以上のように様々な制度を活用し、滞納整理の推進と職員の徴収技術を向上させ、納税者の公平性を守り、自主財源の確

料、水道下水道使用料、理推進会議を設置し、県その他の料金を含めた使と市町村の協働による広用料が3,300万円、域的な滞納整理ができる合計で7,226万円と、ような体制を作るようにな多額の滞納額となり、前現在協議中です。



8番 伊藤 毅議員

## ○道の駅周辺整備 ○旧みなどやの今後の利用計画

### Q 直売所の設置を！

柳津道の駅周辺には、ほつとinやないづ、物産館、斎藤清美術館もあり、すばらしい施設です。しかし、どこの道の駅へ行つても目に付く農産物の直売所です。農業の町、柳津にとつては物足りなさを感じます。

12月7日より始まる物産観光トライアル事業と合わせ、即売会会員はもちらん、会員でない人も自由に出せる農産物の販売方法と農産物直売所があれば年金プラスアルファの所得になりますので、町長の考えを伺います。

要となるので、直売所では会員登録制が導入されています。

募集を行い9台の申し込

みがありました。10月2

5日歴史と文化のやない

づウォーク、11月3日農

林業まつり、11月7日新

そばまつりと本年度は年

度中途からの取組となり

ましたが、延べ13台の軽

トラが出店しています。

いずれも、販売については、まずまずの滑り出し

と伺っています。この事

業は、平成22年4月まで

に会員の再募集と年間計

画を調整し、来年度は春

から秋まで回数を増やす

ています。

最後に、柳津町・三島

町・金山町・昭和村・只

見町の5町村で組織する

奥会津五町村活性化協議

会が新たに取り組むこと

となつた「物産・観光ト

ライアル事業」ですが、

新鮮野菜、様々な情報の

交流を通じてふるさとの

魅力を伝え奥会津に人々

を呼び込む仕掛けでして、

農商工連携事業の位置づ

けとして、都会のニーズ

をキャッチし農家にどの

物等をどのように集荷し、

届けるか、代金決済の方

法等詳細な運用を早急に

検討し、各生産者におつ

なぎしたいと考えていま

す。この事業に賛同する

域づくり懇談会」において、門前町のたたずまい

や歩きたくなる空間整備

など、将来を見据えた地

域づくりを町民とともに考

えているところです。

### Q 旧みなどやの整備計画は？

観光の柳津町からホタルが減少し、さみしくなるばかりです。そこで旧見町の5町村で組織する奥会津五町村活性化協議会が新たに取り組むこと

となつた「物産・観光トライアル事業」ですが、

新鮮野菜、様々な情報の

交流を通じてふるさとの

魅力を伝え奥会津に人々

を呼び込む仕掛けでして、

農商工連携事業の位置づ

けとして、都会のニーズ

をキャッチし農家にどの

物等をどのように集荷し、

届けるか、代金決済の方

法等詳細な運用を早急に

検討し、各生産者におつ

なぎしたいと考えていま

す。この事業に賛同する

域づくり懇談会」において、門前町のたたずまい

や歩きたくなる空間整備

など、将来を見据えた地

域づくりを町民とともに考

えているところです。

### A町長

現在、全国で取り組まれている直売所のほとんどが会員登録制によるもので、これにはいくつかの理由があります。消費者から求められる、「食の安全・安心」には、農産物の品質管理や万が一のためのクレーム処理を考えると生産者管理が必要回、アスパラガス1回を

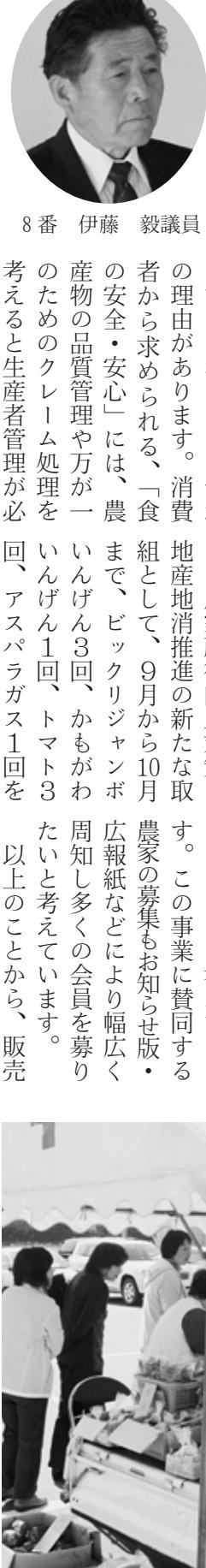
また、農産物の販売にかかる秋まで回数を増やすと同時に再募集と年間計画を調整し、来年度は春から秋まで回数を増やすことを伺っています。

今まで、ビッククリヤンボ

いんげん3回、かもがわ1回、トマト3回

以上のことを周知し多くの会員を募ります。

### A町長



軽トラふれあい市（平成21年11月7日）



7番 荒明 正一議員

- 地震と住民の安全確保と不安解消
  - 町としての地熱発電所の位置付け
  - 県道会津若松・三島線、軽井沢銀山峠間の改良
  - 町長等の給与の減額の在り方

去る10月12日に発生した地震で被害に遭われた皆様には心からお見舞い申し上げます。

## Q 地熱発電所の位置付けは？

この道路は地域を結ぶ重要な路線です。峠で工事が中止されて10数年に  
なり、限界(ヨリ三〇)

重要な道路だと認識しています。この歴史ある街道を誰もが歩ける道路として後世に残していきたく県と協力しながら整備を図っていく所存です。将来に向けて観光道路としても役立てていきたいと考えています。

年財政状況、経済状況などを、私が自主的に減額が必要と判断したときに期間を定めて報酬の減額を行う条例案を提出させていただき、条例として決定いたします。今後とも、そのときの状況判断により対処させて

## Q 不安解消のための対策は？

日頃の訓練、啓蒙活動が  
重要であると思います。

Q 軽井沢銀山峠  
間の改良を！

しかし、この道路は、昔から銀山街道として歷史が流れている貴重な

正  
A  
町  
長

を守るために、中での安全の確保と不安解消のための対策を伺います。

**A町長**  
福島地方気象台でも今  
回の地震は一般的な地震  
活動としています。しかし、  
多くの地元の方が熱  
開発と地震に関連性がある  
と思っていることがあります。  
承知しています。町もそ

道として命名して、将来は観光道路として役立てるようすべしと思いま  
すが、町長の考えを伺いま  
す。

毎年同じ内容の案件を  
出して町長等の給与を減  
額する条例の一部改正を  
審議する姿は、行政評価  
制度を導入して行政運営  
を行っている姿に相反す  
る姿だと思いますが、町長  
の姿勢を伺います。

行政評価は実施した事業を振り返り、次年度以降の事業に反映させ、効率的、効果的な行政執行を図ろうとするものであり、町長等の報酬について議論を行うことと相反するとは考えていいません。

事に住民が心をこめて、被災後、処すべきなのか、住民に精神的な援護、いわゆるメンタルケアが重要なことなど、地震対策で検討すべき点は多いと思います。

三者機関に解析してもこう準備をしています。

地熱発電は国産エネルギーでクリーンな資源の活用が必要です。雇用観光面も含め、地域に貢献できるもので、地元と共に存共栄していく企業と考えています。

の改良工事を実施しております。残りの延長は、250mとなっています。山腹を掘削して工事を進めることから、あと数年は掛かると聞いています。銀山から久保田間は、改良の見通しは立っていません。



柳津西山地熱発電所

# 全員協議会

## 全員協議会

方がオーナーとなつて  
います。

12月16日に全員協議会  
を開催して、桜づつみ植  
栽事業の経過、下平分譲  
地内一戸建賃貸住宅事業  
の経過内容、健康増進施  
設検討委託事業、行政評  
価の平成22年度予算に対  
する反映など懸案事項に  
ついて、執行部の説明を  
求め、協議を行いました。

協議の内容の一部を掲  
載いたします。

議員 今後の管理はオー  
ナーが来て管理するの  
か。

地域振興課長 基本的  
にはオーナーの方に管  
理をしていただく考  
えです。ただどうしても  
やれない分野や肥料等  
をやる分は町で多少な  
りともお手伝いする考  
えです。

議員 まだ予算は3月  
31日まであるわけだか  
ら、別な場所に建てる  
とか、年度末まで努力  
すべきではないか。

議員 最終的に私が行つて、  
そこに集まつていただ  
けで、今のところ執行  
されていません。

議員 町長と担当課長  
は下平分譲地に建設す  
るのはもつ無理だと思つ  
ているのか。

議員 行政評価、人事  
評価をやるのは反対し  
ていない。4,000万も掛け  
てやるべきも、のなか、もつと低  
コストでやるべきでない  
のか。23年度に運用開  
始になりますが、20年  
度、21年度とやって2  
年経つので、経過内容  
を含めて十分な説明を  
すべきである。

を建てる考えでしたが、  
議員の皆さんからご心  
配いただいていた問題  
のとおり、分譲地の住  
民の皆さんの承諾が得  
られませんでした。分  
譲地内に建てることが  
できなくなり大変申し  
訳なく思っています。

最終的に私が行つて、  
そこに集まつていただ  
けで、今のところ執行  
されていません。

議員 町長と担当課長  
は下平分譲地に建設す  
るのはもつ無理だと思つ  
ているのか。

議員 行政評価の予算及び  
事業に対する反映  
事業に対する反映

議員 オーナーの権利  
の年数は?

議員 次の丑寅の寅までとい  
うことでも、オーナーの皆さん  
に了承をいたいでいま  
す。その後について  
は、町で一部管理して  
いく考えです。

議員 今頑張つていま  
す。何としてもこれを  
していかないと若い人  
たちがどんどん他町村  
に行ってしまうことが  
あるので、若い人を残  
せる対策として、努力  
していただきたい。

議員 西山地域の方々から  
の温水プール建設の要望に対し、町  
では職員による検討会  
を立ち上げました。検  
討会では、プールを造  
るのは、維持費を含め  
た相当の金額が掛かる  
ので、それよりも先に  
やるものがあるんじや  
ないかという話になり  
ました。そして西山開  
発協議会と意見交換会  
を実施しましたが相当  
の見解の相違があり、  
結論を見出せませんで  
す。

議員 行政評価、人事  
評価をやるのは反対し  
ていない。4,000万も掛け  
てやるべきも、のなか、もつと低  
コストでやるべきでない  
のか。23年度に運用開  
始になりますが、20年  
度、21年度とやって2  
年経つので、経過内容  
を含めて十分な説明を  
すべきである。

議員 いつ經濟的  
効果が現れてくるかで  
すが、今年度100の

地域振興課長 桜づ  
つみ植栽事業  
の経過内容

地域振興課長 下平分譲地内一戸建賃  
貸住宅事業の経過内容

地域振興課長 分譲地  
の3区画に4つの建物

地域振興課長 いろいろなお膳立  
てをして、何軒かは話  
をして、全員で集まつ  
ていただいたところに、

地域振興課長 町長と担当課長  
は下平分譲地に建設す  
るのはもつ無理だと思つ  
ているのか。

地域振興課長 町長と担当課長  
は下平分譲地に建設す  
るのはもつ無理だと思つ  
ているのか。

地域振興課長 いつ經濟的  
効果が現れてくるかで  
すが、今年度100の

## 要望書

## 要望項目

事業評価を行いましたので、この分は22年度の事業から反映され効果が出てくるものと期待しています。

それが目に見える形というのがどういう手法で出すのかは頭が痛いところですが、評価した事業は公表していくということです。

## 副町長

我々も勉強しながらやっている段階で皆様に説明しきれていました。議員の方々にも別の機会を設けさせていただいてコンサルタントの話を聞いていただければ、もっと本質的なことを理解していただけると思いま

ながる震源とするマグニチュード4・9の地震は、幸いにして負傷者は無かったものの道路の

路盤損傷、家屋、土蔵の亀裂、墓石の倒壊等多くの被害が発生しました。

町においては、災害対策本部を設置して被害の状況を把握し、10月13日現在の状況について新聞等マスコミ報道されまし

たが、これから降雪期に入りますので、災害の早期復旧、融雪時の二次災害防止のために、その後の被害状況調査

をすること。

3 今回の地震に対する、

地区住民の不安は完全に解消されたものと思われませんので、第三者機関による地震の解析調査を公表すること。

4 今回の地震に対する、

地域からの要望等については主旨を尊重し適切に対応すること。

5 町の防災無線は、昭和60年に開設され現在

に至っておりますが、

新築住宅、町に転入した世帯に防災無線が設置されていない所があ

ります。

12月4日に、議会より町執行部に対し、10月12日に発生した地震による被害額の調査を行うこと

など、求められる要望書を提出しました。その内容は次のとおりです。

我が町の安心、安全のため、防災体制の充実を図られる様、次の項目に

ついて要望します。

## 災害対策の要望書を町へ提出

12月4日に、議会より町執行部に対し、10月12日に発生した地震による

被害額の調査を行うこと

など、求められる要望書を提

出しました。その内容は

次のとおりです。

地区住民の不安は完全に解消されたものと思われません。

6 災害時においては、

文教、産業厚生の両常任委員会が合同で、行政調

査を行いました。

## 常任委員会合同調査

## 委員会レポート



りょうぜん里山がっこく

産業厚生常任委員長  
荒明 正一

確認、情報収集手段として最も利用されるので難聴地区の解消を図ること。

伊達郡靈山町のNPO成、文化芸術の活性化への取り組みを観察しました。

生涯学習、子供の健全育

成、文化芸術の活性化への取り組みを観察しました。

地域のみんなが元気に

なってくれる活動を持続・

するため設置の啓蒙を図ること。

になりましたが、設置

報器の設置が義務付け

していない住宅が多い

ので火災から生命を守

ること。

我が町でも交流人口を

増やし、観光の活性化を

図るために、こうした事業

を発展させるための苦労や工夫は大変なものでした。

なっててくれる活動を持続・

するため設置の啓蒙を図

ること。

## お知らせ

第1回定例会は、3月10日から19日の予定です。  
皆さん気軽に傍聴において下さい。

【広報編集委員】

委員長 小林 功

副委員長 横田 善郎

委員 伊藤 穂郎

委員 田嶋 炙浩